

クローバー



病院理念のもと、看護科は積極的な救急の受け入れ、急性期からリハビリ期、退院後も安心して患者さんが生活を送れるよう支援をしています。救急受け入れについては、当直医師の他に拘束医師の体制が整えられており、医師がリーダーシップをとり、コメディカル、外来・病棟看護師が連携し救急医療がスムーズに行われるよう取り組んでいます。

看護科の基本理念は、「患者様や家族の立場に立って誠実で心のこもった看護を提供します」ですが、私はこの理念が大好きです。突然の発症、手術や今後の生活への不安などを抱えて入院している患者さん、ご家族に対して、「自分だったら、どうしてほしいのか」ということを考えながら、知識や技術だけでなく思いやりのある看護を目指しています。

さて、クローバー第2号でも魚野事務長が病院機能評価について述べていましたが、今回は看護の立場から感じたことを述べます。

3月に3rdG: Ver.1.1の認定を取得しました。受審するにあたり、ご協力いただいた関係医療機関の皆さまに、お礼を申し上げますとともに、忙しい中、頑張ってくれた職員に感謝します。

今回の評価体系のポイントは、診察やケアのプロセスを

重視した審査ということで、つまり、患者来院から外来診療、入院を経て退院までに展開されるチーム医療の実践状況についてすべての職種が適切に対応できているのか求められました。受審準備期間中は大変でしたが、現状はどうか、チームの中で当院の看護師はどのような役割を果たしているのか、管理者として振り返る良い機会となりました。

24時間患者に寄り添う看護師が、患者の意向・安全上のリスク・倫理的問題など、日頃感じている疑問や課題について多職種と共有し、意見を出し合い、個人の意思決定ではなく病院全体で解決できるような取り組みができるようになると、質の高い医療、看護が提供できるのだと改めて実感しています。

看護師は、医療チームの要として多職種と協働し、時には職種間の調整役も行いながら専門職として力を発揮してほしいと願っています。また、取り組んだことや指摘事項を改善、継続できるよう努力し、看護ケアの充実と質の向上が図れるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



総師長 西瀧文代

グループワレ 放射線科

こんにちは！今回は当院の放射線科について紹介します。

当院は、県央地域の急性期医療に力を入れております。来院される患者様は脳神経系疾患が多く、内科系、外科系疾患の患者様も次いで多く受診されます。放射線科では夜間・休日も救急に対応し、一般撮影・CT・MRIで全身の撮影を行っています。特に脳神経疾患に於いては、より詳しく患者様の状態を把握するために、SPECTや血管撮影装置を用いて検査や治療を行っています。また、神経疾患画像診断センター（センター長：新潟大学名誉教授 伊藤寿介）を設置し、頭部や脊髄の高度な画像診断を行っています。頭部以外の画像診断は、非常勤の放射線診断専門医3名で行っています。専門医と診療放射線技師は、日頃から撮影方法や検査手技をディスカッションし、各科医師の様々な撮影依頼に対して、患者様の病状に合わせた適切な放射線検査を行っています。



月3回の脳神経画像検討会、カンファレンスには当院の医師の他に、市内外の医師も症例を持参されます。診療放射線技師、臨床検査技師も参加し、症例ごとに活発な情報交換を行い、画像診断、撮影技術の向上を図っております。

常勤医師：伊藤寿介
（神経疾患画像診断センター長）
非常勤医師：3名
診療放射線技師：6名（男性4名、女性2名）
（文 診療放射線技師 福原）

1年間にCTは約7000件、MRIは約3000件の撮影を行い、胸部X線の診断を合わせると、約8200件の画像診断を行い、レポートを作成しています。

各科を窓口地域に地域の医院様からの依頼検査を行い、診断レポートを作成し送付しています。



一般撮影
骨密度 パノラマ



DR (透視装置)



CT (16列)



MRI (1.5T)



血管撮影装置



SPECT

各種検査ご予約の患者様におかれましては、救急の患者様を優先させて頂く場合がございます。その際は、ご了承頂きますようスタッフ一同お願い申し上げます。検査内容や放射線に関する質問等ございましたら、お気軽にスタッフにお尋ね下さい。

第12回 わくわく科学フェスティバル

外来看護師長 清水 朋宏



平成28年8月10日、三条市教育委員会主催、市内の小学生対象の「第12回わくわく科学フェスティバル」へブース参加させて頂きました。県内の大学や市内の高校・中学の部活、JAXAからのブースもあり、毎年800名を超える子供たちが科学を体験するために集まります。当院としては今年で4回目の参加になりますが、例年「体の中の音を聞いてみよう!」と題し、子供たちに実際の聴診器を使って、心臓・肺(呼吸)・お腹の音を体験してもらっています。自分の体の音、友達・父兄の体の中の音を聞くことを通して、人体に興味を持って貰えているのではないかと感じています。今年はそれに加え、AEDの練習器とシミュレーション人形を用いて、子供たちから心肺蘇生の体験もしてもらいました。どの子供たちも真剣でキラキラとした眼差しで望んでいました。この体験の中から、未来の医師・看護師・医療従事者が現れることを願っています。

平成28年バーベキュー大会

平成28年10月1日(土) 毎年恒例の病院親睦会主催のバーベキュー大会がひめさゆり森林公園で行われました。秋晴れの絶好のバーベキュー日和となった当日、過去最高の60名ほどの職員が参加し、大いに盛り上がったバーベキュー大会となりました。



外来診療担当医表

(平成28年11月現在)

		月	火	水	木	金	
内科	午前	1診 循環器科	山田 昌央	藤木 伸也	吉田 陽子	飯嶋 賢一	武井 康悦
		2診 専門内科	<内分泌代謝> 志熊 淳平	<血液内科> 北原 俊彦 (月2回)	<呼吸器内科> 田澤 立之	<内分泌代謝> 田丸 新一	<呼吸器内科> 小林 克行
		3診 一般内科	加藤 博	阿部 聰	加藤 博	阿部 聰	山本 賢
		4診 消化器科		大学医師			
泌尿器科	午前	内科4診		豊嶋 豊照 (月3回)			
神経内科	午前	1診	齋藤 豊		齋藤 豊	齋藤 豊	齋藤 豊
		2診	若杉 尚宏	永井 香津子	永井 香津子	永井 香津子	
外科	午前	三枝 主弦	松土 尊映	三枝 主弦	和田 建彦 三枝 主弦	三枝 主弦	
脳神経外科	午前	1診	鎌田 健一	中川 忠	中川 忠	鎌田 健一	小澤 常德
		2診	森 宏	渡辺 直人	森 宏	小澤 常德	森 宏
整形外科	午前	1診		中山 健太郎	山本 仁	山本 仁	
		2診		中山 貴士 (月3回)	<呼吸器外科> 垣花 昌俊	<呼吸器外科> 石角 太一郎	山本 格 新井 秀和
ペインクリニック (麻酔科)	午前・午後					大瀬戸 清茂	
眼科	午後	田邊 朝子					
耳鼻咽喉科	午前	松本 好弘	松本 好弘		松本 好弘	松本 好弘	
歯科 口腔外科	午前	口腔外科 一般歯科	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子	安楽 純子
	午後	口腔外科 一般歯科	安楽 純子	安楽 純子	(第2水曜以外) 安楽 純子 (第2水曜) 齋藤 太郎	安楽 純子	安楽 純子

受付時間	午前	全科(但し眼科除く) 8:30~11:30 (循環器科 火・水・木10:00迄)
	午後	ペインクリニック(麻酔科)・眼科 13:30~15:30 歯科・口腔外科 13:30~16:30

○8月より整形外科は、毎週月曜日「休診」となりました。 ○毎週金曜 午前・午後ペインクリニック外来を行っております。
○9月より眼科は、毎週月曜日の午後診療となります。 ○「お薬の処方」のみは、受け付けておりません。必ず診察をお受け下さい。

編集後記 秋本番。県央地域でも紅葉が楽しめる時期になりました。残り少ない秋を紅葉見物で楽しみたいと思います。私のおすすめは、弥彦公園もみじ谷のライトアップされた紅葉です。みなさんもぜひ一度行かれてみてはいかがでしょうか。(N.Y)

社会医療法人 嵐陽会

三之町病院
 Sannocho Hospital

〒955-0071 三条市本町5-2-30
 社会医療法人 嵐陽会 三之町病院
 電話 0256-33-0581

クローバー 第3号
発行日 2016年11月1日
発行人 三之町病院
編集 三之町病院広報委員会